

トゥリヤハブウェ・エヴァリン（Turyahabwe Evarline）  
メアリーヒル高等学校（中学3年）



親愛なる支援者・F#factory 様

私は皆様から頂いたエンパワーメントに心から感謝の気持ちをお伝えしたいと思います。  
皆様の支えがなければ、今の私はありません。

今年の一学期は、休暇中に親族が集まった際に交通トラブルが原因で来られない人が出る  
など、多少のトラブルはあったけれど、それでもとても楽しく過ごせました。毎日、自分  
の将来のキャリアのために学んでいて、その他にも起業家を育成するコースを受講するこ  
とで、収入を生む為のスキルを学んでいます。

私の家も相変わらずみんな元気になっています。私は家事や祖父母の世話で忙しくしています。  
それに加えて畑仕事もあり、雑草除去や土を掘って耕しているのでもいつも忙しいです。

皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

心をこめて

---

アンクンダ・ペイシェンス（Ankunda Patience）  
キスイズィ助産師・看護学校（3年）



「私の学校での近況について」

私は2年半かかる看護師コースに2015年11月20日付で入学しました。そして去る2016  
年9月に1年生から2年生に進学する為の進級テストを受けました。昨年12月にその結果  
が公表され、私の成績は以下の通りでした。

Paper I…75点、評価D2（優秀）  
Paper II…67点、評価C4（優良）  
Paper III…73点、評価C3（優良）  
Paper IV…72点、評価C3（優良）

私は現在3学期を無事に終え、2017年5月13日より4学期が始まるところです。  
そして2018年の5月に看護師教育課程を無事に終えることを楽しみにしています。  
この看護師コースを終える頃には私は看護師になるという目標を達成し、優秀な看護師になっていることでしょう。  
いつもあたたかいご支援をありがとうございます。

---

ナマラ・バーバラ（Namara Barbra）  
キシズィ助産師・看護学校（2年）



「奨学金の御礼」

親愛なる支援者の皆様

私は皆様より奨学金のご支援をいただけていることに謹んで感謝申し上げます。  
Kibubura 女子中等学校の1年生の頃から、現在の Kisiizi 看護学校・助産師コースに在籍している今まで、継続してご支援いただきありがとうございます。今の看護学校は環境が良く、学校での経験は私の将来の糧となっています。  
私は皆様のあたたかいご支援がなければ、今の自分はありませんでした。ですから、皆様は私の心からの感謝の気持ちをどうか受け取ってください。私の両親は貧しく、私の授業料を支払えませんでした。また、私たちの文化では女兒教育は重要視されていませんでした。一女の子は嫁ぐ際、花婿側の家族から婚資<sup>注1</sup>（bride price）が支払われ、家族にとって女の子は「富の源」とされています。もちろん、この結婚は女兒がまだ若い頃になされ、女兒の教育はあまり必要とみなされてきませんでした。  
このように女兒教育が支援されていない中で、ご支援いただき、エンパワーメントを頂けたことに本当に感謝しています。  
どうか引き続き、ご支援いただけますよう、お願い申し上げます。私は自身の教育課程が

修了した後、私も支援を必要としている女兒に対して本や鉛筆などの学校の必需品を提供するなど、支援していくことを約束します。

どうか皆様に神様からのご加護がありますように。

いつか日本に行き、皆様にお会いできることを願っています。

心を込めて

注1 婚資…花婿の親族が、花嫁の親族に対して贈る金品や財産。

アンピレ・シャロット (Ampaire Shallot)

ヴェラニャギ女学校（高校2年）



「奨学金への感謝と今の状況について」

親愛なる支援者の皆様、

ミレニアム・ビレッジ・プロジェクトの一つである教育分野で、中学校1年生の時から今まで継続して奨学金をご支援いただき、心から感謝申し上げます。私はこの奨学金がいただけることを当たり前と思っておらず、ご支援いただいているからこそ勉学に励み、支援者の皆様をはじめ、家族やコミュニティーに対して感謝を結果で示したいと思っています。しかしながら、学校では新たにアドバンスレベルのクラスを受講することになり、成績こそ悪くはないけれど上手く成績が上がらず、今とても悪戦苦闘しています。しかし、時間をかけてクラスに追いつき、全力を尽くしたいと思っています。誰しも調子が良い時期と悪い時期があるかと思いますので、成績が良くない科目に関してはどうかご理解いただければと思います。

学校に関しましては、特に教育設備、食事、環境が整っていてとても良いところです。学んだり教えたりする環境に適しているとしか言いようがありません。

私は皆様がしてくださった一つ一つのこと、全てに感謝しています。ミレニアム・ビレッジ・プロジェクトは私にとって親のような存在で、そしてこれからも私の“ジャーニー（旅）”はまだ続くので、引き続きご支援をいただけたら幸いです。

皆様に神様からのご加護がありますように。

ありがとうございます。

心を込めて

---

オウエンババジ・エミリア (Owembabazi Emilia)  
キタビ・プライマリー・ティーチャーズ・カレッジ (2年)



「奨学金の御礼」

2011年に小学校7年生を終えてから、これまでいただいたご支援に感謝します。私の両親は、中学校以降の学費を出すことができませんでしたが、MPJのサポートのおかげで私は今でも勉強を続け、今年度を終えれば教師になることができます。

私は女の子たちが一生懸命勉強するよう励まし、手本となるような教師になることを約束します。

---

アエバレ・グロリアス (Ayebare Glorious)  
カロリ・ルワンガ 看護・助産師学校 (3年)



「奨学金をいただけるようになってからの私の人生」

親愛なる鈴木理恵子理事長と皆様、

この機会に、慈悲深く、私の人生に大きな変化をもたらす助けをくださった鈴木理事長や皆様と巡り合えたことを神様に感謝を表します。

私はつましい家庭に生まれ、兄弟が多いことや経済的な事情から、小学校卒業後は勉強を続けられるとは思っていませんでした。

ご支援のおかげで素晴らしい学校に通うことができ、私の人生には大きな変化がありました。本当に、これまで学費を負担いただき感謝しています。鈴木理事長にも神様のご加護がありますように。

両親も、私がこのように鈴木理事長から愛情をいただいていることに感謝しており、理事長にも幸運が訪れるよう、毎日お祈りしています。私は学業に関することにはできる限り力を尽くし、いつか日本を訪れたいと願っています。

---

ナツマンヤ・プロシ (Natumanya Prossy)  
カロリ・ルワンガ 看護・助産師学校 (3年)



「奨学金の御礼」

親愛なる鈴木りえこ理事長と皆様、

助産師になるため勉強しているナツマンヤ・プロシです。2011年から頂いている多大なご支援に心からの感謝の気持ちを表します。

そうした支援は誰でもできることではありませんから、鈴木理事長にも神様のご加護があると信じています。

奨学金を頂いた日から、なんでもなかった私の人生は大きく変わり、いまでは未来になにかを期待することができます。

学費や生活費が払えないという理由で退学になることもなく、私はそのおかげでよい成績を修めたいという希望が叶えられていると断言できます。ありがとうございます。

ペン、本、鉛筆、Tシャツ、生活費など、いつも頂いているプレゼントにこれからも感謝し続けます。そうしたプレゼントは鈴木理事長からの際限のない愛情の表れだと感じています。

神様への唯一の願いは、鈴木理事長にもありあまるほどのご加護ありますようにということです。

---

アタンバ・クレア (Atamba Claire)  
イバンダ 助産師・看護学校 (3年)



「私の今の生活について」

ミレニアム・ビレッジ・プロジェクトよりご支援を頂いているアタンバ・クレアです。

私は小学校卒業後、自分が将来、なにか重要な人間になれるというような期待は全く持てませんでした。しかしミレニアム・ビレッジ・プロジェクトから支援を頂き、中学校に通えるようになったことは、私の夢が叶った瞬間でした。

2011年にまだ幼い少女だった私は、中学1年生として自分の将来に向かってメアリー・ヒル女学校に通い始めました。メアリー・ヒルは素晴らしい、興味深い学校で、私はそこでかけがえのない経験ができたと誇りを持って言えます。たとえば、メアリー・ヒルにはよい規律があり、実習のほかカリキュラムと並行して様々な活動がありました。

学校での勉強だけではまるで足りないかのように私は勉強に励み、2年、3年、4年生へと進級することができました。4年生の時には、中学卒業後の自分にとってなにが大切か、決断するのは簡単ではありませんでしたが、ミレニアム・ビレッジの教育担当であるフラハさん、ペニーナさん、ローレンスさんのサポートとアドバイスをいただき、現在、在籍しているイバンダ助産師・看護学校に進学するという重要な決断を下すことができました。

今では、人によって異なる健康問題をどう解決するかを学び、また助産師資格の取得を専攻していることから、出産の補助やその時に必要なケアを施せることを誇りに思っています。

現在、学校では広報部に所属していて、学校全体に向けてニュースを書いたり、読んでいます。

11月に私は助産師専攻コースを修了する予定です。

これまで私に支援と勇気、道しるべをくださった全ての暖かい手や心に神様のご加護がありますように。

私の感謝の気持ちは何よりも先に、ミレニアム・ビレッジ・プロジェクトのスポンサーである鈴木理事長をはじめとする支援者の皆様に向けられています。皆様はいつも、愛情に溢れた励ましの心を示してくださいませ。そのおかげで私は学費が払うことができなくなったり、必要な教材を買えなくなったりすることがありません。

また、教育担当のフラハさん、ペニーナさん、ローレンスさんへの感謝も忘れることができません。彼らは、私がいつも集中して一生懸命勉強ができるよう、助言をするなど多くのことをしてくださっています。

また、両親も、学校で何か必要なことがあったときや、通学をいつもサポートしてくれており、大いに感謝しています。

皆さんにさせていただいたことが大きすぎて、私は何もお返しができませんが、いつでも神様のご加護がありますように。